

令和6年7月9日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 川森 大輔
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 上野・寺尾・管野 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

病院経営動向調査 (2024年6月) の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎(3月、6月、9月、12月)に実施しています。今回は2024年6月に実施した本調査の結果についてご報告します。
詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象: 病院(355施設)を運営する法人275法人(うち、医療法人230法人)*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項: 病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、2023年度の経営状況等
- 回答数: 病院: 227 医療法人: 150 有効回答数: 病院: 227 医療法人: 150
- 有効回答率: 病院: 63.9% 医療法人: 65.2%
- 実施期間: 2024年6月3日(月)～2024年6月24日(月)
- 実施方法: Web上で実施
- 集計方法: DI(景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出)に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が2(前回調査より4%ポイント低下)、療養型病院が△32(同34%ポイント低下)、精神科病院は△33(前回調査とほぼ同水準)となった。
- 医業収支(黒字・赤字)のDIは、一般病院が△35(前回調査より6%ポイント低下)、療養型病院が10(同6%ポイント低下)、精神科病院は△14(同10%ポイント低下)となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が△17(前回調査より8%ポイント低下)、療養型病院が△4(前回調査より9%ポイント低下)、精神科病院は△26(同2%ポイント低下)となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が△35(前回調査より6%ポイント上昇)、療養型病院が△42(同4%ポイント低下)、精神科病院は△56(同8%ポイント低下)となった。
- 経営上の課題として「人件費の増加」を挙げた病院は、一般病院が61.9%(前回調査より6.6ポイント低下)、療養型病院が66.0%(同0.5ポイント上昇)、精神科病院が53.5%(同1.3ポイント上昇)となった。

【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは△17(前回調査より14%ポイント低下)、事業収支(黒字・赤字)のDIは△17(同7%ポイント低下)、資金繰りDIは△11(同3%ポイント低下)、従業員数のDIは△37(同6%ポイント上昇)となった。

【その他】

- 2023年度の医業利益率について、一般病院全体では△2.0%と、前年度(2022年度)から1.2ポイント低下した。療養型病院では2.0%、精神科病院では△0.7%であり、いずれも前年度から低下した。
- 医師の時間外労働の上限規制について、「経営上の影響なし」と回答した病院が75.8%を占めた。「経営上の影響あり」と回答した病院に対して影響の内容を確認したところ、「医師の増員による人件費の増加」と回答した病院が52.7%と最も多かった。

以上